



終末期医療と仏教Ⅰ 弘教寺住職 中山英昭

今年6月に群馬ビハーラの研修で、新潟県長岡市にあります長岡西病院を訪問しました。

日本で初めて仏教ホスピスを併設した病院として、NHKの番組でも取り上げられました。一度は訪ねてみたいと思っただけに大変感動し、担当者やビハラ僧のお話など、終末期医療と仏教の関わりについて学ぶことの多い研修となりました。

仏教(僧侶)は永く「死」との関わりを心に担ってきました。社会一般でも、人が亡くなつて関わるのが、仏教の役割のように思われています。

お釈迦さまが説かれた經典の中に、死者に向かつて説かれたものは一つもないと言われています。しかし、仏教は今では死者儀礼(葬儀や年忌法要)にのみ存在価値を持つような状況です。

幼少時「坊主 まるもうけ」と、からかわれたりバカにされたりと、寺院子弟の多くが、つらい体験をしていると思います。物心のつく年代には寺を嫌い、寺を継ぐことに大きな抵抗を持つようになります。

一方医療現場では、「死」を避けたり排除



第34号

発行所

〒370-0131 伊勢崎市境米岡二七九-二 浄土真宗本願寺派弘教寺 寺報編集部 電話0270(74)0573

するようなどころがあります。「4」という数字は「死」を連想することで、「4号室」を置くことを避けたり、4階のフロアを無くしている病院もあると聞きます。

医療現場では「死」を敗北とする考えがあるようです。ですから、病院で亡くなられた患者さんは早々に病院の裏口から出されてしまいます。

今ビハラ活動で伺っている高崎市の上大類病院の看護師長さんが、「この病院に来て驚いたことは、患者さんが亡くなられると、正面玄関から、医師、看護師の皆さんに見送られながら出ていくということですよ。」と言われました。私も「いのちの尊厳」を大切に

する行為として同感しました。矢島院長が私達にビハラ活動の場として要請されたことも、「いのちの尊厳」の観点から、「死」を尊いこととして、敗北感を持たず受け入れていく姿勢なのではないかと思えます。



ビハラ病棟がある長岡西病院

では、治療できない場合、治療を止めざるを得ないことで、担当医や看護師も敗北感から、言葉をかけることも少なくなり、対応も変わっていくといえます。そうしたことで、患者さんにとって孤独感や大きな「死」への恐怖を体験することになります。

今県内でも緩和病棟を持つ病院が増えていきます。「死」という事実を受け入れつつ、患者、家族、医師・看護師が、穏やかな最期を迎えるために同じ歩みを進める施設です。

仏教の教えは、「生死」の問題を解決する教えです。終末期の患者さんの痛みは薬で解決できませんが、心の痛み、苦痛は解決できません。特に自らの「死」の問題解決は切実なことです。そこに僧侶が関わり、寄り添ってさまざまな患者さんの思いを受容できれば、穏やかな日々を過ごすことができると思えます。

また「仏さまの世界」、「往生の世界」を伝えることができれば、より安らかに「死」と向き合うことができるはずです。

終末期医療の中で、今後ますます仏教(僧侶)が関わっていく必要性を強く感じております。

合掌

## 東京教区仏教壮年会連盟総会・大会報告

好天に恵まれた5月14日(土)に築地本願寺の第二伝道会館 蓮華殿にて総会・大会が開催され、当寺から3名が参加いたしました。

教区の仏教壮年会連盟には現在106ヶ寺の壮年会が加入し、群馬組では弘教寺を含めて3ヶ寺の壮年会が加入しております。

午前の総会では、平成28年度の活動方針

「浄土真宗の生活信条を宗として暮らす門信徒の輪を拓げる」と、活動計画「生活信条を宗とする生活の実践奨励」と共に、事業計画が執行部より説明され承認されました。

午後の大会は、総会の報告の後に谷間徹誠師の記念法話がありました。師は宗派仏教壮年会連盟講師で、石川教区江南組光榮寺ご住職でもあり、法話は節談説法を交えたもので心に響くものでした。その一部では「浄土真宗の門信徒の生活は生活信条が基本であり、声で発するだけでなく、味わう事が大切である。例えば『み仏の誓いを信じ』は、私が誓いを信じる行動は聴聞で教えをいただく事である。」と語られました。



最後に、次回の壮年会連盟結成記念日研修会は栃木南・北組が担当で平成29年2月19日(日)〜20日(月)に鬼怒川温泉の「きぬ川ホテル三日月」で開催予定と紹介がありました。(橋本ま)

## 群馬組ビハーラ研修会に参加して

西蓮寺の坊守様が「いつか見学に行きたいです」とお話し下さった長岡西病院ビハーラ病棟(新潟県)の研修会に参加させて頂きました。仏堂が有る緩和ケア病棟とお聞きして何と進んだ病院でしょうかと、驚き羨ましく感じました。とつても立派な仏堂で、ご本尊として17世紀にビルマで造られたというお釈迦さまがいらして、宗派にこだわらず自由に入りができます。ビハーラ僧の方と見学者の私達が読経中でしたが、患者の方がお参りに見えました。入院中の方はどのような時でも、お参りができるようになっているんですね。大変幸せだと思いました。

ベットの上で合掌してお念仏を唱えるのではなく、近くの仏堂のお釈迦さまの前でお参りが出来るのは何とも有り難いことです。



仏堂のお釈迦さま

ビハーラ僧の方がおっしゃった「安らぎが有り家に居る時と同じように」のお言葉が心に残り思わず涙が流れてしまいました。いつでも手を合わせられる仏堂のような場所が、近隣の病院にも設けられますよう願っています。今回の研修に参加でき感謝申し上げます。(泉ま)

## 第5回納涼カラオケ大会の報告

梅雨の谷間の好天に恵まれた7月8日に、恒例の納涼カラオケ大会がカラオケスタジオ「ミナミ」で行われました。参加者27名は気心の知れた仲間の集まりで、雰囲気もよくやる気十分。美味しい料理とお酒に酔いしれての歌合戦は機械による採点。しかし落とし穴付き三角クジにて加点減点の総合点で順位を決定。喜んだと思っただけがっかりするという仕掛けに盛り上がり、年を感じさせないパワーには驚きです。遊びに興じていると時の過ぎる事を忘れあつという間の宴でした。

平成20年にカラオケ愛好会が発足し早8年を経過しました。毎月の定例カラオケ会には多くの方に参加をいただいております。皆さんと一緒に歌う事で場が和やかになり、楽しい出会いを堪能する事ができ感謝しております。これからも是非遊びに来て下さい。わずかな一時ですが少しでも癒されれば幸いです。(小林ち)



## 弘教寺ゴルフコンペの報告

第23回弘教寺ゴルフコンペは好天に恵まれた5月24日(火)に、藤岡カントリークラブで30人の参加で各ホールを湧かせた熱戦でした。接戦の結果、飯塚治男さんが待望の初優勝をしました。



平成28年6月8日、群馬組仏婦連盟20周年記念大会を開催できましたこと、組内仏婦連盟会員にはこの上ない喜びでございました。終了後もあちらこちらから、よかったよかったと言う心暖まるお言葉を頂き、ホッとしている今日この頃です。それもひとえに各寺のご住職、坊守さま方、各寺の運営委員の皆様の方の結集した賜物と思うこととございます。私も桐生の川村家へ嫁ぎ早や40年になります、実家が他宗のこともありいろいろと戸惑うことも有りましたが、祖母に、義母に教えられ見よう見まねで今日までやってきました。そして会長という大役を引き受けなんとも不思議な縁を感じている次第でございます。東京教区の工藤会長が群馬組の仏教婦人会の一人一人のパワーに驚き、「会が一つにまとまっている」と褒めてくださいました。本当に嬉しい事です。又祝賀会の余興では、笑顔で踊りに、フラダンスに、歌にと盛り上がり日頃の練習の成果だと確信いたしました。もうすでに30周年へ向かって動き出しています。この先もどんな素晴らしい仏婦連盟になっていくか楽しみで心より期待しております。

(組仏婦連盟会長 川村文子)



後日の反省会では、充実した大会を振り返り、30周年に向けて新たな一歩を踏み出そうと思いを一つにすることができました。手を携え、み法の友として歩む群馬組仏婦連盟にご期待ください。

(弘教寺 坊守 中山恵子)

## 群馬組仏婦連盟 結成20周年記念大会

群馬組仏婦連盟結成20周年記念式典並びに祝賀会が、130余名の参加で盛大に開催されました。式典では「婦人会綱領」を読み上げ「世界はみな同朋の教えに従い、み法の友の輪を広げます。」と一同声を揃えて誓いました。記念講話では南荘先生の「よろこびをひろめよう」。まさに綱領通り。浄土真宗10ヶ寺の皆様が仲良く手を取り合い又お互いに助け合うことで、さらに大きなみ法の友の輪となることでしよう。

先生の素晴らしい声量が響きわたり「真宗宗歌」「弥陀の名号となえつつ」を一緒に歌いました。心が癒やされて明るい気持ちにさせて頂き、記念大会にふさわしい一ページを綴る事が出来ました。祝賀会では各寺の有志がコーラスや踊りの披露です。弘教寺は10周年に続き今回もユカレリのフラダンスを披露致しました。新調したドレスで会場を一層明るくし、祝宴にふさわしい盛り上がりになりました。

ご来賓の先生をはじめとし、各寺の住職様 坊守様の温かいお力添えを頂き、無事に20周年記念大会が終了致しました。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。(弘教寺仏婦会長 野水孝子)



## 「組仏婦連盟の歩み」

群馬組仏婦連盟は、5年間の研修、準備期間を経て平成9年に発会し、今年20周年を迎えました。これまで23名のご講師のお話をいただいています。2ヶ寺しかなかった婦人会が今では5ヶ寺に増え、相談員のご住職に頼っていた組織運営も、坊守様方援助のもと会長と全ヶ寺運営委員の協力で進められ、活動の充実が図られています。

今大会では、池田行信宗会議員、山本政秀教務所長、工藤千代教区仏婦会長を来賓にお迎えし、藤野正親群馬組組長はじめご住職様方にもご協力を頂いて、20周年を盛大に祝うことができました。仏教婦人会総連盟からは理事長よりお祝いのメッセージも届きました。役割分担により粛々と進められた式典・総会。言葉を大事に楽しく豊かに仏教讃歌を味わわせて頂いた南荘宏先生のご講話。歴代会長4名の参加に懐かしく20周年を振り返り感動を新たにできた祝賀会。出し物で盛り上がり、終盤の「しんらん音頭」では、来賓の皆様まで踊りの輪に巻き込んで群馬組仏婦の結束は、最高潮に達しました。

子どものつどい「泥だん」



6月11日、今年も子どもたちが夢中になる泥だんごと肉ジャガ作りを行いました。つどいはお勤めとご住職のご法話で始まりました。泥だんごは、湿った土をこね、その表面に細かい乾いた砂をまぶして、艶のある玉に仕上げます。その出来ばえによりご指導の山崎先生がキラキラした色の粉をまぶしてくれます。子どもたちは、最上級のマリンプルーフを目指して二度三度と挑戦しています。付き添いの家族とスタッフの方々も楽しんでいました。先生の指導は、出来ばえによりランク付けしますが、順位を付けたり、全員を同じ出来ばえに揃えるのではなく、工夫と向上心を引き出しているように感じられました。

作って食べようは、お寺の畑のジャガイモを掘り、坊守さんと婦人会の方の指導で、肉ジャガとおにぎりを作りました。

毎回のつどいで好評のご住職手作りのフルーツカルピスポンチも加わり壮年会のスタッフが準備した会場で参加者の全員が楽しく美味しくいただきました。恒例の誕生会をして、本堂に戻ってご本尊に感謝をいたしました。

(山本ゆ)

◆この人◆ 徳丸 照明さん・伊勢崎市

他宗の方ですが、寺の行事にはご門徒の誰よりも積極的に多く参加されており、徳丸照明さんを紹介いたします。

東京生まれで、幼年期に旧境町(現在・伊勢崎市)に家族で転居しました。

小学校・中学校の同期には寺の役員をされている、伊部芳夫さん、小林長三郎さん、門徒の武藤貞雄さん、村松尚志さん、大橋武雄さんらがおられます。

社会人の大半は「サンデン」で過ごし、その後自動車関連部品会社に転職しました。最後の勤めで関連会社の立ち上げの責任者として、北海道へ転勤します。創業者の地元であることから精力的に道内を回り会社を軌道に乗せ、大きな評価を得ました。

70歳で地元の境町に戻り旧友から誘われ、グランドゴルフなどで親睦を深めている内に、弘教寺とのご縁を頂きました。壮年会の会員となりサークル活動に励んでおり、ご縁を頂いたことに感謝しているとのこと。

奥様との2人の生活ですが、近くのお孫さん2人の世話をしながら楽しんでおります。

体調は特に持病もなく朝の散歩を日課にし、「後期高齢者ですが薬の世話になつていない」のが自慢です。

これからも、友人を大切に励みますとの事です。



(橋本ま)

◆行事予定◆ (平成28年4月～平成28年7月)

月別	弘教寺の行事予定		教区・群馬組の行事予定	
8月			3日	組ビハーク法話会:ユカリお盆
	19日	婦人会例会	13日～16日	
	20日	子どもの集い:夏フェスタ	27日～28日	組連研一泊研修:伊香保
9月	3日	壮年会例会	18日	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
	26日	婦人会例会	19日～25日	秋彼岸(中日:22日)
	8日	子どもの集い	3日	組ビハーク法話会:カラオケ
10月	15日	婦人会創立45周年記念式典		
	18日	講談会:一龍斎春水先生		
	24日～25日	第24回弘教寺コンペ	29日	組連研:蓮照寺
11月	13日	壮年会例会	11日～16日	築地本願寺報恩講
	18日	婦人会例会		

※編集後記※

高齢者運転免許証の更新講習を受けると認知症のテストがある。20枚の絵を見せて、5分ほど無関係な話をしてから、先ほどの絵が何だったかを答えるテストである。

これは運転中次の交差点に来て「さっきの標識は高崎まで右何キロと書いてたっけ」と同乗者に聞くようなものである。

私も84歳になり、かなり能力が低下しているのを自覚している。ご迷惑をかける前に若い編集者の選任をお願いしている次第です。(玉田た)

## 弘教寺 新総代・世話人

平成28年4月より新たな役員  
構成となりました。

筆頭総代

伊部 芳夫

総代

貝塚 俊市

〃

佐藤 吉一

〃

栗原 政廣

〃

小林長二郎

世話人

杉本 修

〃

神戸 幸雄

〃

藤居 克育

〃

橋本 豊

〃

飯塚 治男

〃

浅田 康裕

〃

須田 正信

〃

中野 俊和

〃

隅谷 重夫

〃

大澤 正孝

〃

根岸 定明

### 【退任の役員】

筆頭総代

倉林 賢治

総代

田中 岩男

世話人

武藤 貞雄

長年のご苦勞様でした

### 就任のご挨拶

伊部 芳夫

今年度より、筆頭総代の倉林賢治氏が退任され、後任を拝命いたしました。もともと力不足であります。ご住職を始め、役員、門信徒の皆様のお力を借りて、次の三点を基本に精一杯勤めて参りたいと存じます。

(一) 永代経法要、報恩講法要、婦人会、壮年会、子供の集い等の行事に、役員、門信徒の皆さんとともに積極的に参加し、また、子供さんやお孫さん達がお寺に参る機会をつくり、ご住職、坊守様の活動の一助になれるように努力すること。

(二) 門信徒の皆さんと色々な事柄について話し合う場をつくり、その思いや声を吸収して、ご住職にお伝えし、寺の発展に寄与すること。

(三) 仏法・聴聞を大事にして、「本願寺新報」等をよく読み、情報の収集知識の向上に資すること。

どうぞ宜しくお願い致します。



父頼次郎氏も筆頭総代として弘教寺発展のためにご尽力下さいました。

### 退任のご挨拶

倉林 賢治

平成12年、弘教寺開山140年の本堂内陣改修落慶法要が勤まりました。このご縁を頂き、4月より世話人として地域の門信徒の皆様の手助けを未熟ながら引き受けました。その後時はうつり、平成23年3月に田中岩男氏が退任され、引き続き微力な私が筆頭総代をおおせつかりました。門信徒皆様、仏教壮年会・仏教婦人会の各役員の方々のご協力を得まして5年間勤めさせて頂き心より感謝をしております。任期中は大変お世話様になり誠に有り難うございました。

これからは、伊部芳夫氏の筆頭総代を中心に、壮年会活動、婦人会活動、そして各サークル活動がますます発展いたしますことを念じております。

阿弥陀様のみ光に照らされ、今生かされてる命に感謝し、皆様と共に聴聞を重ねて歩んで参りたいと思っております。

門信徒皆様のお

力によって弘教寺

のますますのご法

義繁盛とご多幸を

念じ申し上げます。

合掌



# 仏教壮年会 新役員

会長	橋本勝
副会長	栗原政廣
会計	中野俊和
監査	根岸定明
委員 (各サークル幹事・補佐)	橋本豊
ゴルフ会	伊部芳夫
囲碁の会	貝塚俊市
マージャンの会	佐藤吉一
カラオケ愛好会	補佐 中野俊和
旅行の会	幹事 橋本豊
パソコン教室	補佐 柴崎一弘
子供の集い	幹事 伊部芳夫
全般	補佐 高橋俊一
事務	幹事 小林長三郎
	幹事 神戸幸雄
	幹事 根岸定明
	幹事 杉本修
	補佐 田中岩男
	幹事 西正裕
	補佐 橋本勝
	幹事 貝塚俊市
	補佐 山本勇三
	委員 松元保昌
	住職

## 就任の「挨拶」 橋本勝

仏教壮年会は平成9年に「門徒の皆さんが、気楽にお寺に来て話をしたり、聞いたりして相互の親睦を図りましょう。」と言うご住職の呼びかけで発足し、来年は20周年となります。その活動は定例会の開催、寺の行事への協力、各同好会サークルにと活発であります。

(一) 例会は年6回を発足以来一度も欠かさず開催し、今は「歎異抄(現代語版)」の講読で組内の西蓮寺ご住職によるご法話を聴聞。その後は会費制の会食で季節の料理と、ご住職の気配りの銘酒で親睦を深めます。

(二) 寺の行事の二法要(報恩講、永代経)、「こどものつどい」、など諸行事に婦人会の皆様と共に協力をします。

(三) 同好会・サークルはゴルフ会、囲碁の会、マージャン会、パソコン教室、カラオケ愛好会と毎月の活動で老化防止に努めます。

更に、毎年、婦人会との宿泊合同研修旅行を実施して相互の親睦も深めております。

これらの活動は、ご住職・坊守様・歴代会長のご努力と、会員皆様のご協力のお陰であります。



この歴史のある壮年会会長を受け継ぐ大変さを痛感しておりますが、発足時の「気楽にお寺で話をしたり、聞いたり」の趣旨を大切にして門信徒の皆様の手足になりたいと思っております。

## 退任の「挨拶」 佐藤吉一

平成22年4月、貝塚俊市氏より弘教寺仏教壮年会会長を引き継ぎましたから、2期6年の長い間務めさせていただきました。当初は何も解らないままに過(あや)ま(ま)してしまいましたが、役員の皆様や会員の皆様のご協力をいただき大変助かりました。

大きな行事として平成24年に、弘教寺仏教壮年会15周年記念行事が、50余名の会員の参加を得て盛大に行われました。また、前年の平成23年には親鸞聖人750回大遠忌法要参拝と、古都奈良の研修を、2泊3日、総勢68名の参加で行いました。ほんとうに素晴らしい行事でありました。

個人的には、毎年2月に行なわれる東京教区仏教壮年会結成記念日研修会に数回出席させてもらい色々勉強をさせていただきました。さらに、群馬組での連続研修会では2年間12回の法座で日常生活のさまざまな課題を話し合った事です。

これからは、弘教寺様及び壮年会へのお手伝いを、できるかぎりさせていただきます。



在任中の皆様のご協力に感謝を申し上げます。弘教寺仏教壮年会の会長退任の挨拶とさせていただきます。